

事業名	まちづくり公社支援事業	総事業費	46,220	千円
-----	-------------	------	--------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	組織力と職員力の向上
	基本事業名	市民視点を基本とした改革の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		①業務の効率化を図る。 ②雇用の創出を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	まちづくり公社の次年度以降の業務について、庁内の取りまとめを行うなど、市役所とまちづくり公社との連絡調整に関する業務を行った。また、まちづくり公社事務局と協議を行うなどの形で支援活動を行った。また、市担当者とまちづくり公社担当者と業務ヒアリングを実施し、業務内容の確認を行い、次年度以降の業務の協議を実施した。
	成 果	職員数の増加が見込めない中、草払いなど施設環境整備等の業務について、業務効率化の中心的な役割を果たしている。 まちづくり公社職員の処遇改善等を中心に今後のまちづくり公社のあり方について、まちづくり公社事務局と協働して検討を行い、まちづくり公社理事会等の関係会議を経て令和元年度より一部改善がなされたが、人材確保が難しく、限られた陣容の中で依頼業務についてはおおむね良好に管理されていると考えている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	人材の確保が困難となっており、引き続き業務を依頼するためには、人材確保に向けて協力しながら取り組んでいく必要がある。 まちづくり公社の依頼業務の市への報告のあり方等、依頼業務の評価の手法について再度検討を行い、補助金等の額の適正化の指標等の検証が必要である。 また、発足から9年を経過しているが、市からも職員を派遣しており、自立に向けた体制等の検討が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	環境整備等の業務について業務効率化の中心的な役割を果たしているが、依頼業務等の評価について再度補助金の妥当性を検証する必要がある。また、市からの職員派遣体制等についても検討する必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	行革担当部署との連携により依頼業務のさらなる洗い出しが必要である。 また、公社職員に対する研修実施などについても支援を求められた場合には情報提供等を図っていく。
-----------	---